

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 もこもこ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日		～	2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		～	2025年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数のため、マンツーマンで丁寧に関わることができている。	環境に適応することが難しい子どもに寄り添って支援している。 毎回散歩にでかけることで、しっかり身体を動かせるようにしている。	子どもたちの特性や課題を踏まえて、楽しく活動できる内容を考えてきたい。 小さな変化を見逃さず支援を行う。
2	少人数の安心できる環境で支援をすることができている。	広いスペースではないが、マットや仕切りを使って、子どもたちが安心、安全に遊べるように工夫している。 集中して活動できるシンプルな環境を作るようにしている。	個別対応で落ち着いて遊ぶ、小集団での関わりを持って遊ぶ等、状況に応じたスペースの使い方を考えていきたい。
3	チームワークよく、よりよい支援に向けて取り組んでいる。	日々の振り返りで、改善すべき点を検討し、次回の支援に生かせるようにしている。 定期的なミーティングや日々の打ち合わせだけでなく、気づいたことをすぐに話し合える環境づくりに心掛けている。	共通理解を深め支援にあたり、個人の支援のスキルを高められるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル等の保護者への周知が十分でない。	マニュアルは作成されているが、保護者への周知の方法を検討できておらず、周知できていない。	周知の方法を検討、実施する。
2	保護者会や保護者同士の交流の機会、保護者との面談等が十分でない。	家族参加のイベントを開催しているが、参加が限られている。保護者会の必要性についても今後検討していきたい。	普段から保護者のニーズをくみ取る意識を持って支援する。 定期的に、計画的に面談を設定し、密な連携に努力する。
3	利用人数が少ないため、小集団を作ることができず、子どもの遊びが固定しがちになる。	療士等を常駐していないためか、利用者が集まらない。	連携している相談支援事業所等に募集の広報活動をする。